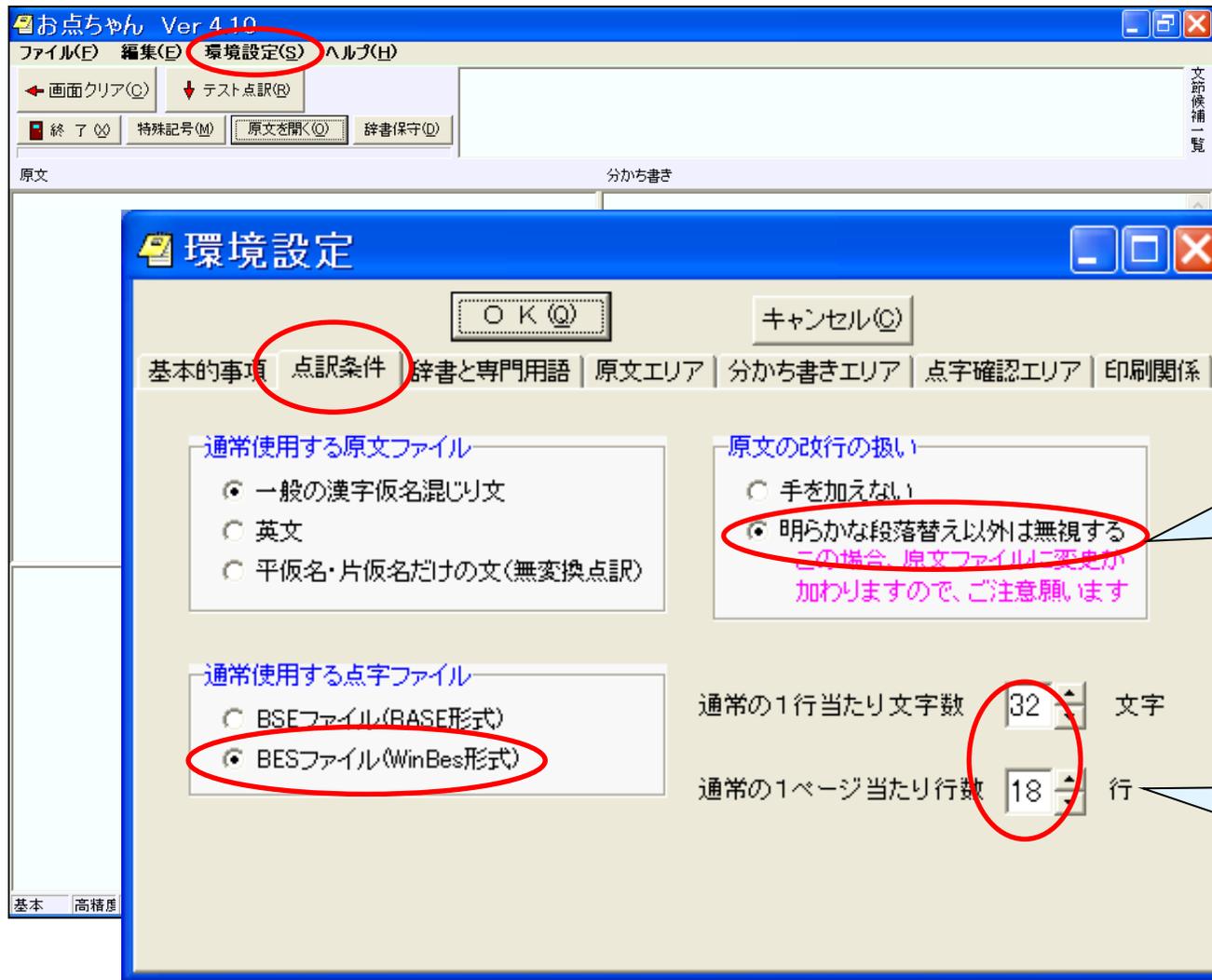


# 「お点ちゃん」で自動点訳

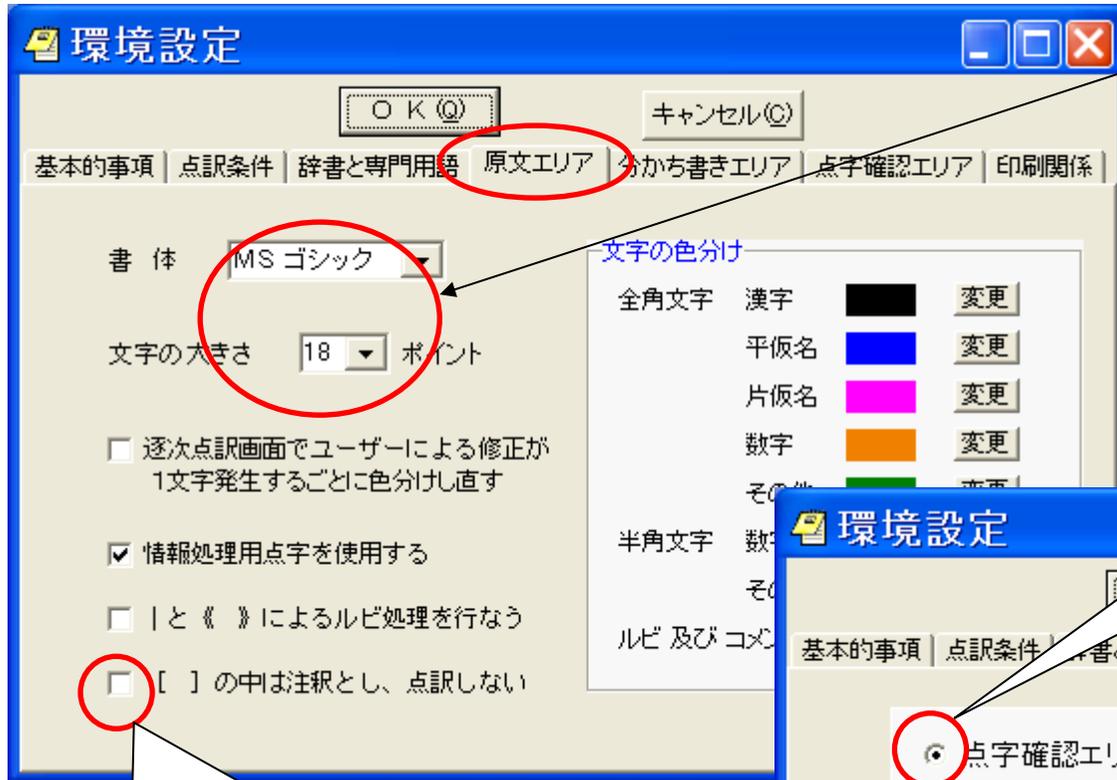


1 お点ちゃんの環境設定  
→ 「点訳条件」タブで必要な設定変更をする。

(左図の通り)

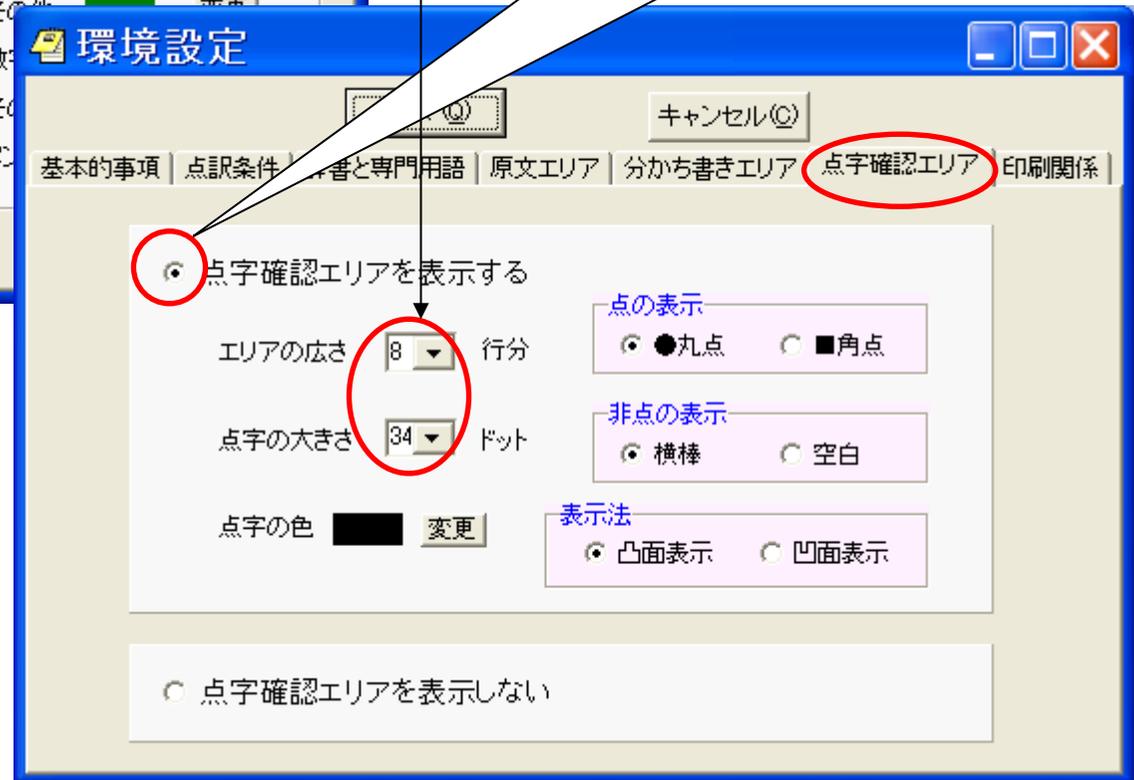
ここを選択しておかないと、テキストで行が移るごとに BESで改行マークが付いてしまう。

18または22行。ここも忘れがちなので、要注意！



好みで自分の都合の良い設定に。

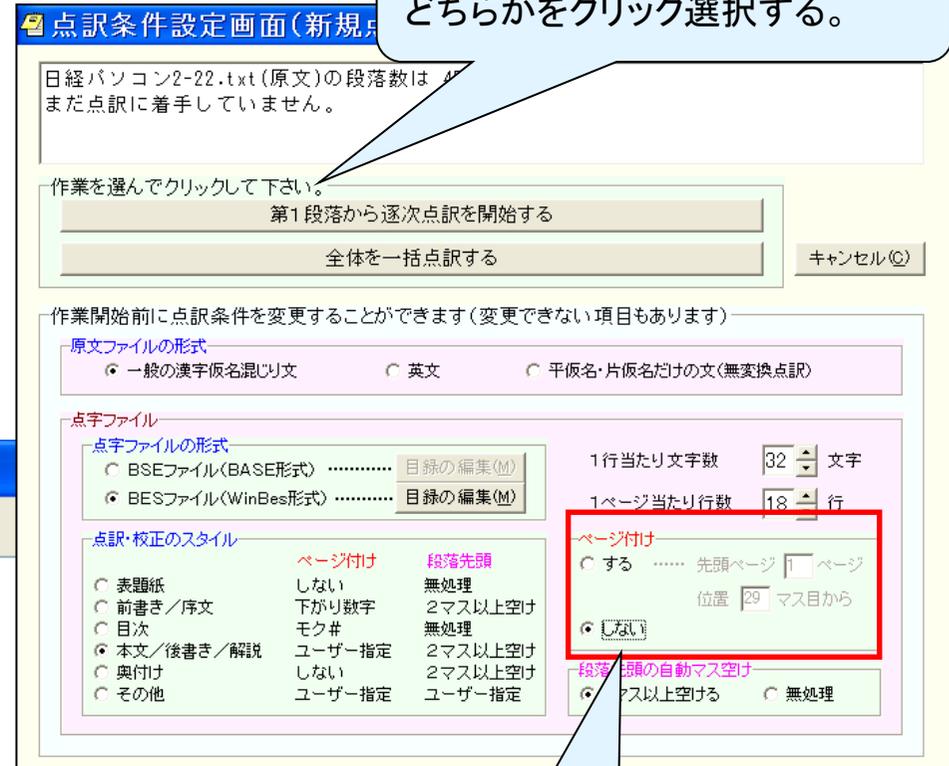
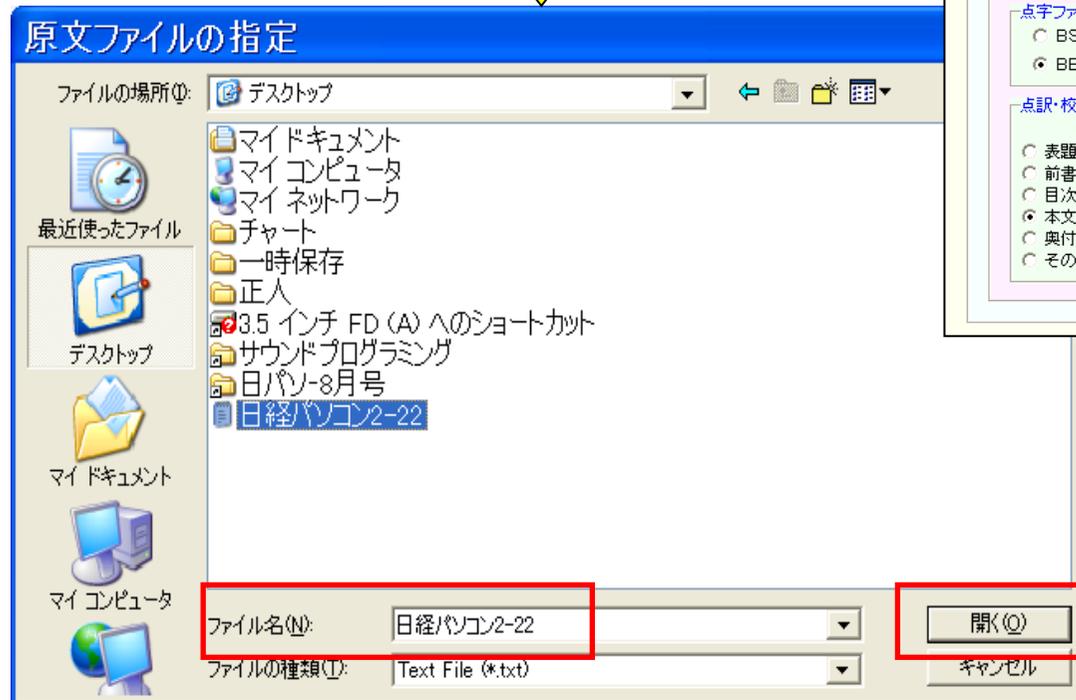
「点字確認エリア」タブでは ——  
逐次点訳する際に点字表記を確認したい場合があるため、点字確認エリアを表示させておく。



「原文エリア」タブでは ——  
ここのチェックを外しておかないと、  
[ ]内がてんやくされなくなってしまう。

※ その他のタブも 開いて確認し、自分好みに  
変更し、最後に 上部の **OK** ボタン。  
次回からはこれが初期設定となる。

## 2 自動点訳する原文のテキストデータを開く



### 3 逐次点訳を選択した場合

第1段落点が点訳された画面。

② 選択すると下の分かち書きや点字のエリアに反映される。

次ページ参照

原文エリア

分かち書きエリア

③ 修正が終わったら、次段落の点訳に移る。

① クリックでカーソルを表示。修正はこのエリアで行う。入力文字は全角の数字・アルファベット・ひらがな・記号。カタカナは不可。カーソルの置かれた部分の修正候補が上部に表示される。

点字確認エリア

45段落中の1段落目

テキストデータで行頭6ますあけになっていると、見出しと認識し、自動的に2行目は2マス下げにな

逐次点訳 高精度 段落 1/45(1)

## 特殊記号ボタンを押す

**特殊記号入力パネル**

分かち書きエリアに挿入したい記号のボタンをクリックして下さい。  
 線類をクリックしたときは、開じるボタンを押さないとこのパネルは閉じません。  
 特殊記号の前や後にマス空けが必要な場合は、ユーザーが入力して下さい。

<b>小見出し符</b> 第1 <input type="button" value="・、"/> 第2 <input type="button" value="・・"/>	<b>カッコ類</b> <table border="1"> <tr><td>開き</td><td>閉じ</td></tr> <tr><td>第1 カッコ</td><td>( )</td></tr> <tr><td>第2 カッコ</td><td>[ ]</td></tr> <tr><td>2重カッコ</td><td>《 》</td></tr> </table>	開き	閉じ	第1 カッコ	( )	第2 カッコ	[ ]	2重カッコ	《 》	<b>矢印</b> <input type="button" value="←"/> <input type="button" value="→"/> <input type="button" value="↔"/>								
開き	閉じ																	
第1 カッコ	( )																	
第2 カッコ	[ ]																	
2重カッコ	《 》																	
<b>継ぎ符</b> 第1 <input type="button" value="—"/> 第2 <input type="button" value="=="/>	<b>指示符類</b> <table border="1"> <tr><td>開き</td><td>閉じ</td></tr> <tr><td>第1 指示符</td><td>・「 」、</td></tr> <tr><td>第2 指示符</td><td>・「_」_、</td></tr> <tr><td>第3 指示符</td><td>『_』_』</td></tr> </table>	開き	閉じ	第1 指示符	・「 」、	第2 指示符	・「_」_、	第3 指示符	『_』_』	<b>星印</b> 第1 <input type="button" value="☆"/> 第2 <input type="button" value="★"/> 第3 <input type="button" value="▼"/>								
開き	閉じ																	
第1 指示符	・「 」、																	
第2 指示符	・「_」_、																	
第3 指示符	『_』_』																	
<b>カギ類</b> <table border="1"> <tr><td>開き</td><td>閉じ</td></tr> <tr><td>第1 カギ</td><td>「 」</td></tr> <tr><td>第2 カギ</td><td>&lt; &gt;</td></tr> <tr><td>2重カギ</td><td>『 』</td></tr> </table>	開き	閉じ	第1 カギ	「 」	第2 カギ	< >	2重カギ	『 』	<b>その他の囲み</b> <table border="1"> <tr><td>開き</td><td>閉じ</td></tr> <tr><td>番号付注釈</td><td>[ ]</td></tr> <tr><td>外国語引用</td><td>{ }</td></tr> <tr><td>情報処理</td><td>&lt; &gt;</td></tr> </table>	開き	閉じ	番号付注釈	[ ]	外国語引用	{ }	情報処理	< >	<b>線類</b> 線類のみは 複数回のク リックが可能 棒線 <input type="button" value="—"/> 点線 <input type="button" value="…"/> 波線 <input type="button" value="～"/>
開き	閉じ																	
第1 カギ	「 」																	
第2 カギ	< >																	
2重カギ	『 』																	
開き	閉じ																	
番号付注釈	[ ]																	
外国語引用	{ }																	
情報処理	< >																	
<b>挿入符類</b> <table border="1"> <tr><td>開き</td><td>閉じ</td></tr> <tr><td>点訳者挿入符</td><td>(( ))</td></tr> <tr><td>第1段落挿入符</td><td>((□ □))</td></tr> <tr><td>第2段落挿入符</td><td>《□ □》</td></tr> </table>	開き	閉じ	点訳者挿入符	(( ))	第1段落挿入符	((□ □))	第2段落挿入符	《□ □》	<b>伏せ字</b> <input type="button" value="○"/> <input type="button" value="△"/> <input type="button" value="□"/> <input type="button" value="×"/> 他 <input type="button" value="●"/>	<input type="button" value="閉じる(Q)"/>								
開き	閉じ																	
点訳者挿入符	(( ))																	
第1段落挿入符	((□ □))																	
第2段落挿入符	《□ □》																	
<b>その他</b> % & 注記符 ※ # * 空欄 /ふふに																		

※ **分かち書きエリア**で 左図のボタンに表示されている記号を手入力しても 記号が入力できる。

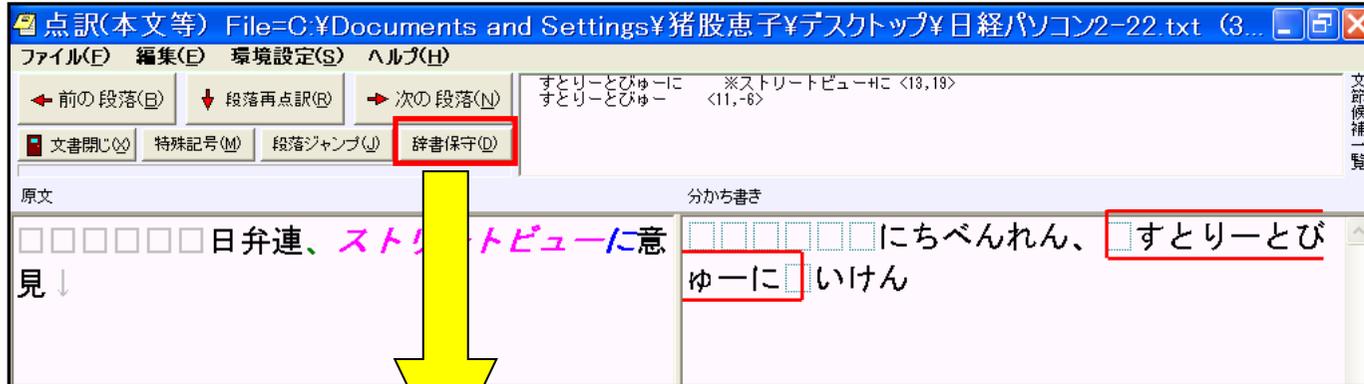
例えば 小見出し符なら   中点・読点 を分かち書きエリアで入力する。段落挿入符開きなら  カッコ・カッコ・スペース。

分かち書き

分かち書き

**全角文字で手入力**

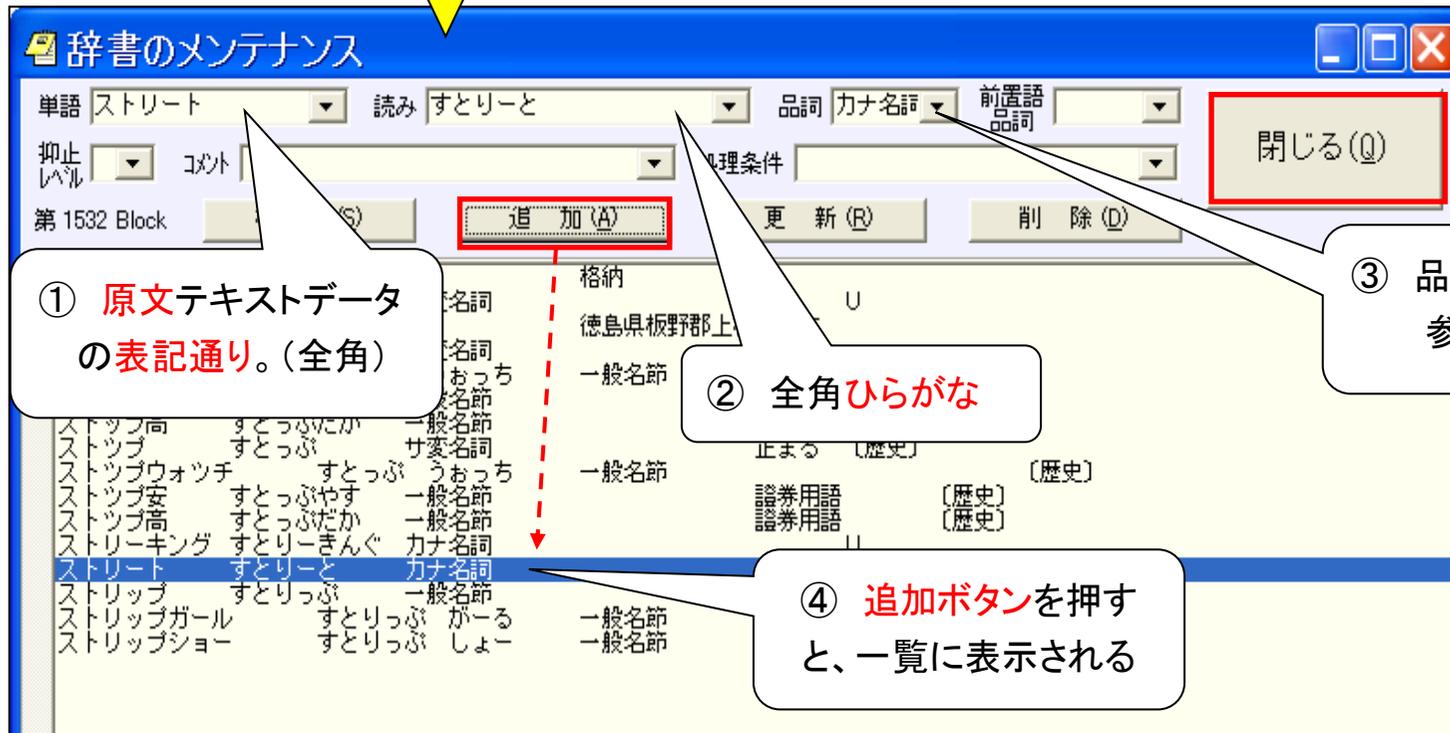
## 修正候補に正しい表記が無い場合（例）



お点ちゃんの辞書にないカタカナ語は一続きに点訳されてしまう。

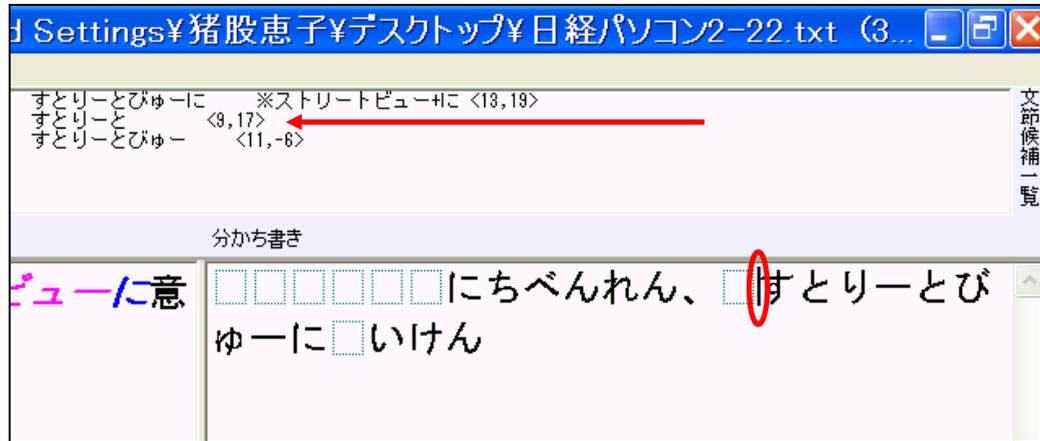


「辞書保守」ボタンを押して、辞書を追加・更新する。

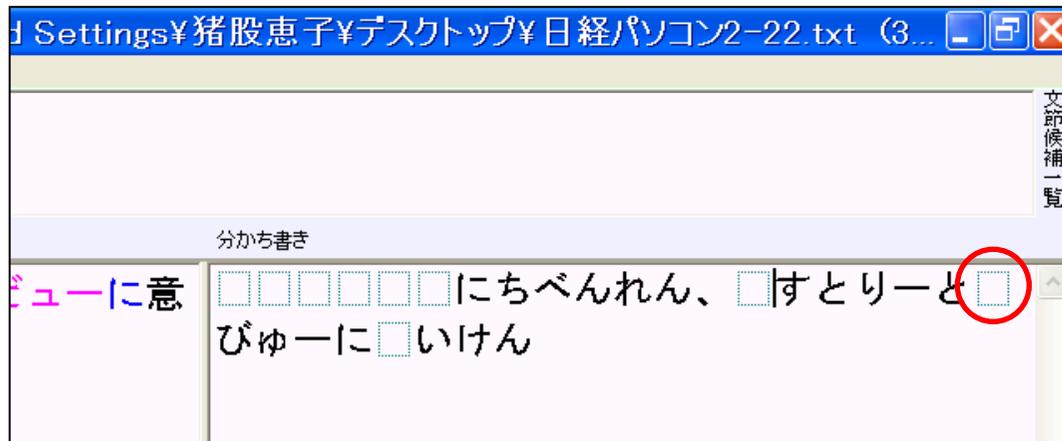


⑤ 閉じるボタン

単語欄に「ストリートビュー」、読み欄に「すとりーと びゅー」と登録しても良い。



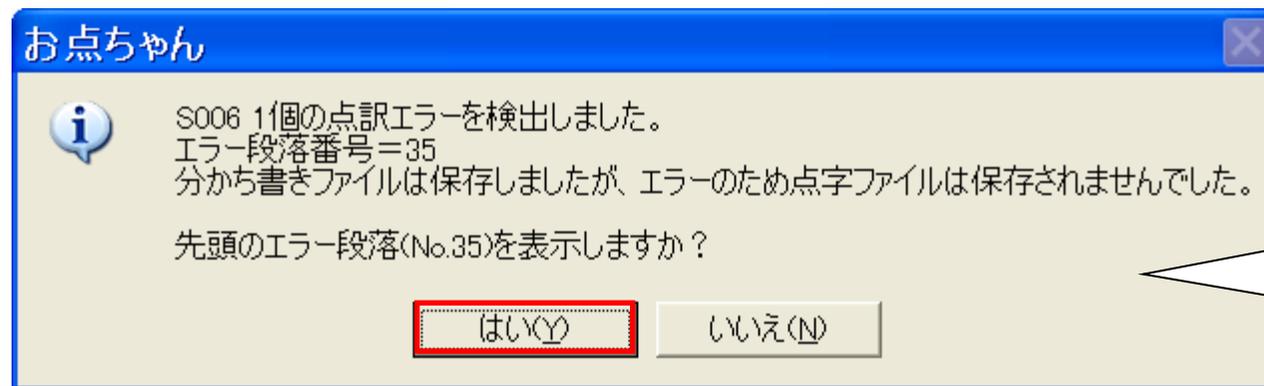
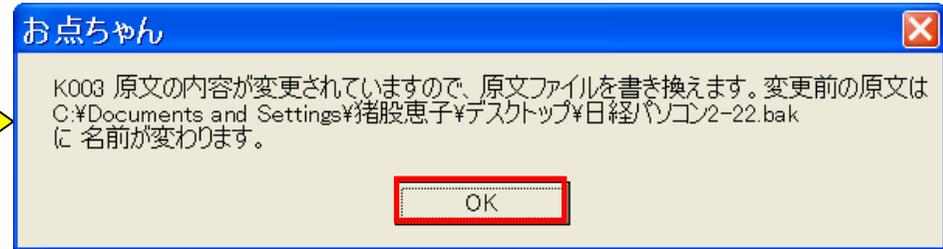
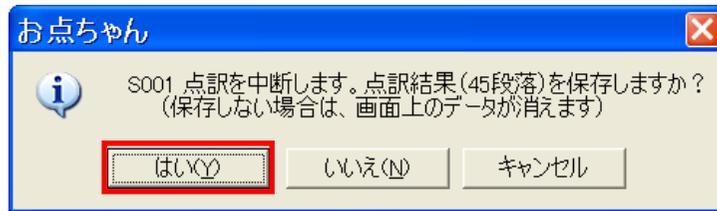
辞書に「ストリート」を登録したので 分かち書きの「すとリーと」にカーソルを置くと、上の修正候補に「すとリーと」が 1 語として追加されている。



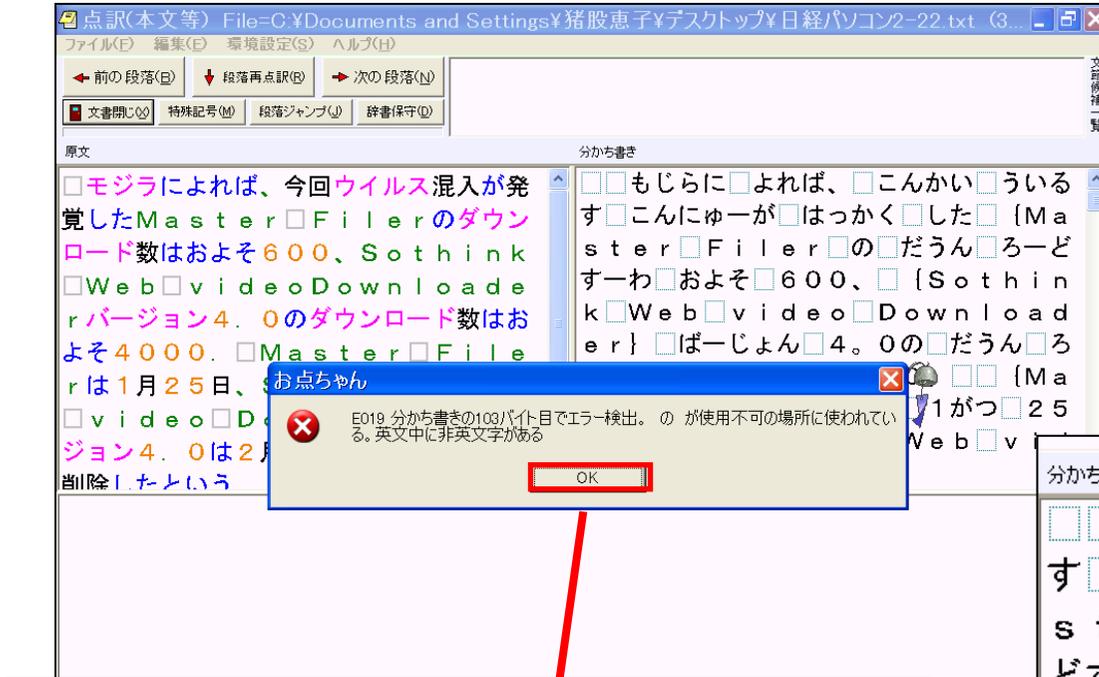
修正候補の中の「すとリーと」をクリック選択すると、分かち書きエリアが修正され、マスあけされる。  
(すとリーとびゅー → すとリーと□びゅー)

分かち書きエリアで手入力によりスペースを入れることも出来るが、よく出てきそうな単語なら、面倒でも 辞書保守ボタンで、辞書を追加していった方が、お点ちゃんがいやすくなって行く。ほとんど出てこないような複合語の場合は手入力で、その場かぎりの修正でも良い。

- ④ 最終段落まで点訳・修正が終わったら画面の指示に従って保存  
→ 原文テキストデータと同じフォルダに同じファイル名で保存される。

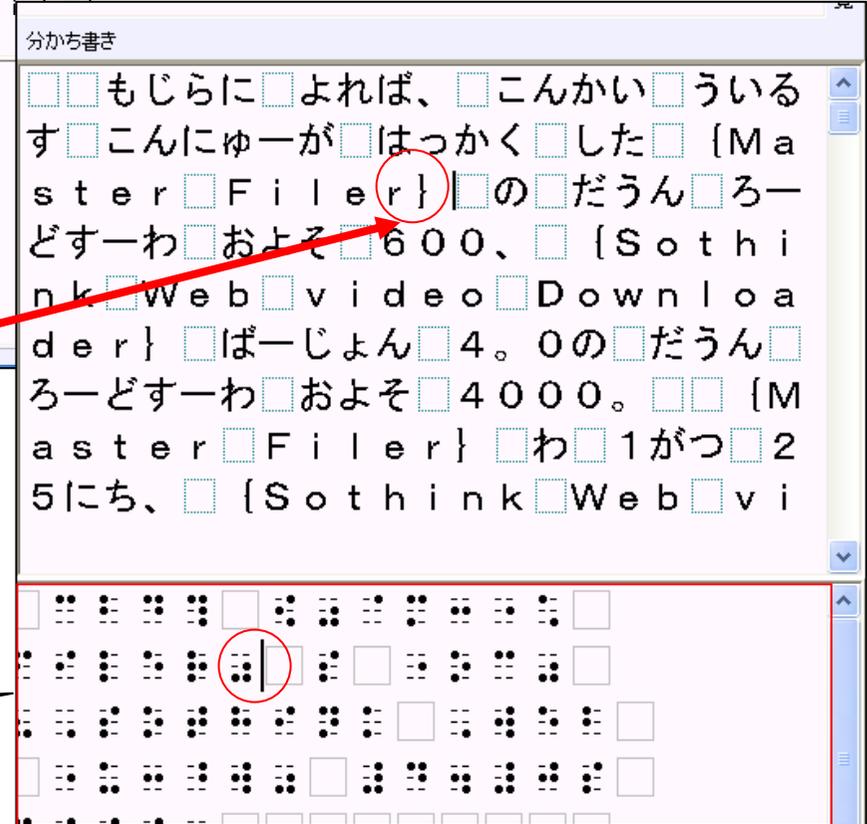
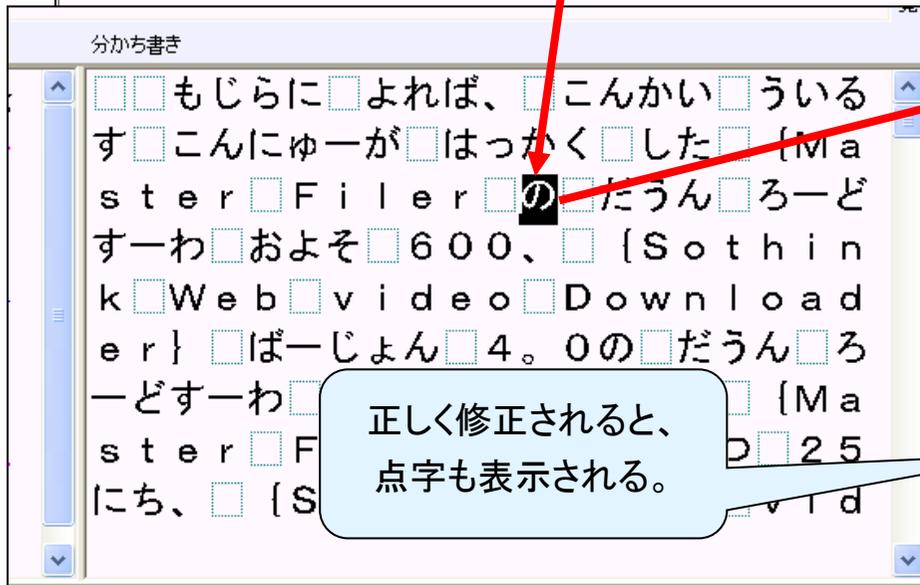


エラーが出た時は、  
「はい」をクリックし、  
エラーを修正してから、  
**文書閉じ** ボタン  
→ 次ページ参照



例:

- ・ エラ一段落が表示されるので、OK
- ・ エラー箇所が反転表示される。
- ・ Filer の後に 外国語引用符が抜けているので、特殊記号ボタンを使って入れるか、手入力で中カッコ閉じを入れる。



## その他 逐次点訳 と 一括点訳 の違い

メリット

デメリット

比較項目	一括点訳	逐次点訳
お点ちゃん 自動点訳中	一度に最後まで点訳されるため、点訳・修正・辞書追加 等の手間が無いので、速くて簡単	(初期段階では)段落ごとに逐次点訳し、分かち書きエリアで修正したり、辞書追加 等の手間があるため時間がかかり、面倒
自動点訳 結果の保存	テキストデータである程度修正出来ないと、必ずと言ってよいほどエラーが出るため、保存時の修正の手間がかかる	ほとんどエラーが無く、スムーズに保存できる
BESファイルの 点検・修正	誤読・切れ続きのミス・記号の変更 等かなりの量の修正が必要	お点ちゃんの分かち書きエリアで修正できない部分(例えば 単位GBなど)と他の少しの修正で済む
以降のお点ちゃん の点訳精度	学習されないため、精度は変わらない(例えば長いカタカナ語はほとんどが一続き・外文字と引用符の誤使用など)	日頃よく点訳するものに出てくる語が追加登録されていくので、修正箇所が減り、また学習効果により 精度が上がって行く。(→一括点訳してもエラーが出なくなる)

提言 : 最終的には お点ちゃんを手を掛けるか、BESで手を掛けるか、好みや慣れ具合で自分にあった方法を選択すればよいが、表の最下欄の「以降の点訳精度」の違いは 使えば使うほど大きく開いて行く。最初のうちは面倒でも、精度が上がれば、逐次点訳中の修正も減ってくるため、より手間がかからなくなり、一括点訳してもエラーが出なくなる。